

SST普及協会第24回学術集会群馬大会

メンタルプラスの時代へ

～もっとモバイルな、もっとカラフルなSSTを～



日程：2019年12月7日(土)・8日(日)

会場：前橋テルサ 群馬県前橋市千代田町二丁目5番1号

大会長：浅見 隆康(群馬大学健康支援総合センター)

副大会長：赤田卓志朗(群馬県立精神医療センター)

実行委員長：須藤 友博(群馬県立精神医療センター)

大会顧問：福田 正人(群馬大学大学院医学系研究科神経精神医学)

主催：一般社団法人SST普及協会 共催：SST普及協会北関東支部

群馬大会の魅力

- ・会長講演、特別講演、教育講演など、SSTを理解し、その重要性を学び、これからの実践につながる、さまざまな講演を聴くことができます。
- ・シンポジウムでは、「方法論の垣根を越えて、こころの健康づくりの新たな時代を招く」をテーマに、家族にこれまでの道のりを語っていただき、SST（生活技能訓練）、CBT（認知行動療法）、オープンダイアログなど、それぞれの立場から家族への支援方法を紹介していただきます。いろいろな技法があっても、共通しているものがあることに気づくことができます。
- ・群馬大会の前日（2019年12月6日）には、5つ研修会を用意しています。

被災当事者支援のSST

災害時にはさまざまな困難事が想定されますが、日頃からSSTを学び実践しておくことで、その程度を減弱させることができますし、周囲と協力し合い、うまく乗り越えられた場合には、回復を促進する力にもなります。どのようなSSTを日頃から学習しておくとういよか、みんなで考えるセッションです。

依存症者回復支援のSST

薬物依存症の回復支援に尽力していただいている人たちに、SSTを活用していただき、対象となる人たちの社会復帰を促進することを目的としたセッションです。

働く場での健康対策—SSTを活用する取り組み—

企業でのメンタルヘルス対策が大きな課題となっています。その一環として、SSTをどう活用したら、働く人たちの健康増進に役立つかを考えるセッションです。

学校での発達障害児・者支援—SSTを活用する取り組み—

SST関係者が教育現場に出向き、発達障害児・者支援として、SSTを活用した取り組みが行われています。その一端を紹介し、それぞれの場でどのようにSSTを活用できるか、アイデアが得られるセッションです。

回復支援と自分を語る場

医療の場や地域で、当事者や家族が安心して語る場を作り、回復支援を進める方法を学ぶセッションです。

- ・全国各地でSST普及に取り組んでいる会員の方々から、精神障害を抱える人たちへの退院支援、地域移行支援、家族支援、発達障害児や者への回復支援、教育現場でのコミュニケーション力向上に向けた試み、矯正・更生保護施設でのSST、働く人たちの健康支援など、さまざまな発表があります。
- ・賛助会員施設でSSTを学ぶ当事者のみなさんから、「あったらいいな、こんなこと。できたらいいな、そんなこと。」をテーマに、ご意見を公募します。
- ・市民公開講座を行い、「居場所が欲しい—不登校生だったボクの今—」をテーマに、この本の著者であります、浅見直輝氏からお話しいただきます。

お問合せ・連絡先

SST普及協会第24回学術集会群馬大会 運営事務局

株式会社トリョウビジネスサービス内

〒104-0045 東京都中央区築地2-3-4-9F

e-mail：24gakkai@jasst.net

TEL：03-3547-9664（営業時間：平日9：00～18：00）

FAX：03-3547-9684